

2012 年 9 月 13 日 個人投資家向け説明会

主な質疑応答

Q. 2013 年 2 月 1 日に新設される人材紹介部門の狙いについて

A. 狙いの 1 つは、質の高い優秀な技術者を新卒・一般(中途)採用することです。その層の技術者は、メーカーへの転職ニーズが高いため、人材紹介サービスを掲げることにより、採用の質を高めていきたいと考えております。

Q. 優秀な技術者が転職することによる業績への影響について

A. これからも、技術員が、派遣事業で顧客企業に配属されている間、当然、当社は売上・利益を得ることができます。その後、希望者が、人材紹介部門を介して転職します。その際に、転職先より、紹介料をいただきます。

Q. 第 1・2 四半期実績と比較した際の第 3・4 四半期業績予想の鈍化について

A. 第 3・4 四半期の業績のポイントは、2012 年 4 月に採用した 162 名の新卒者の配属状況がどちらに振れるかというところにあります。現状、比較的苦戦するであろうという前提で、業績予想を組んでおります。

また、既存社員に関しては、97%を超える稼働率のため、欧州債務危機に関する余程の悪影響が出ない限り、第 3・4 四半期も堅調に推移するであろうと予測しております。

Q. 新卒者の配属が順調に推移した場合、業績予想を上回る可能性はあるということか。

A. その通りです。また、現状、保守的に予想をしておりますので、この予想を下回ることはないかと思えます。

Q. 2013 年発表予定の中期経営計画の売上高・利益目標について

A. 2013 年からの中期経営計画は、2013～2016 年の 4 カ年を計画しております。過去最高の売上高、利益を計上した際のビジネスモデルと、本日、ご紹介した新たなビジネスモデルを前提に、売上高の規模は、過去計上した最高額の 2009 年 1 月期の約 53 億円を上回る設定を行います。経常利益は、過去計上した最高額の約 4 億円を上回る着地を見据えております。